

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	10	担当部課名称	都市部景観みどり課
事務事業名	生け垣の築造奨励事業		
見直しのタイトル	制度の見直し		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・補助対象が幅広く、限度額も大きいことから、工事内容により補助金額に大きな差が出てしまう。
- ・フェンス施工を伴う場合など、安全性の確認を行うための事前チェックや中間検査が必須となるため、提出書類が多くなり申請者の負担となっている。
- ・工事着手前に申請を受け、市で内容確認をする制度設計となっており、申請から着手まで一定の期間待っていただくことが必要となっている。
- ・申請者にとって申請時に助成額が確定できない。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

- ・予算内で対応できる補助対象者数を増やすため、少額助成の制度とすることを検討します。
- ・生け垣築造だけではなく、樹木1本の植樹にも対応できる助成制度とすることを検討します。
- ・利用しやすい制度となるよう、申請時に助成額が確定できる助成制度とすることを検討します。
- ・成果の見える化を図るため、助成対象は沿道面に限ることを検討します。

## 3 改善により期待できる効果

- ・予算内で対応できる補助対象者数を増やすことができます。
- ・提出書類等を見直すことにより申請時の負担を減らすことができます。

#### 4 実施スケジュール（概要）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ・平成30年6月末まで  | 制度素案の作成      |
| ・平成30年7月末まで  | 関連課かいへの照会確認  |
| ・平成30年10月末まで | 要綱原案作成       |
| ・平成31年1月末まで  | 要綱制定         |
| ・平成31年2月末まで  | 制度パンフレットの作成  |
| ・平成31年3月末まで  | 広報による制度周知の実施 |

#### 5 実施結果の振り返り

「生け垣築造奨励補助金」の見直しを行い、新たに「みどりのまちなみ推進補助金」を創設しました。

奨励事業の補助の対象について、生け垣を築造することから樹木を植樹することへと変更することにより、樹木を1本植樹するだけでも補助金を支給できるようにしました。

また、申請方法について、従来の制度では、申請者が工事着手前と工事完了後の2回手続きが必要であったところを、新制度では、工事完了後の手続きのみで申請できるようになりました。

このように制度の内容を見直したことにより、より多くの方に利用していただける制度とすることができました。